

SHIN CLUB 184

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「Weltmeister schaft (恵比寿西1丁目計画)」撮影：渡辺慎一

今月のトーク/monthly talk

恵比寿

今月の写真は、恵比寿に建ち上がった、おしゃれな共同住宅です。恵比寿は、代官山や青山と並ぶ女性に人気のスポット。隠れ家的なレストランや雑貨店がそここに点在しています。もともと駅周辺から少し離れたと山の手の閑静な住宅街が広がっており、「住みたい街」では常に上位にランクされているところです。

地名の由来は実は駅名から、というか、ビールのエビスが先。1889年(明治22年)発売されたエビスビールは、1900年パリの万国博覧会で金賞を受賞。大人気となり、1901年、製造販売していた日本麦酒造会社(現在のサッポロビール)のビール出荷用の貨物駅が山手線上に開設され、ビールの商標にちなみ、駅名を「えびす」と命名しました。「下渋谷」だった周辺の地名も1928年「恵比寿通」と名付けられ、その後いくつかの町がまとまって「恵比寿」となりました。つまり、ビール名が地名になった、広告的にはこれ以上はないというくらい、力のある名前だったのです。

さて、そのビールのラベルにもありますが、「えびす」は七福神の一寸。狩衣を着て、右手に釣竿、左脇に大きな鯛を抱え、にこやかに笑っている像が恵比寿駅にも鎮座しています。レトロ感あふれ、しかも商売繁盛を呼び込む福の神は、新しい時代に多くの人に飲んでほしいというビール醸造会社の願いを表したネーミングでした。戦時中、いったん途絶えた製造が28年後に復活し、再び人気を取り戻しています。ビール工場の跡地は、再開発され「恵比寿ガーデンプレイス」という都市型空間に生まれ変わりました。

しかし調べてみると、「えびす」という字はたくさんの表記(夷、戎、胡、恵比須、蛭子、恵比寿など)があり、またいろんな神様として信仰されてきた経緯があるんですね。夷といえば、中央政府からみた東国の敵、異邦の民であり、戎も中国の西北の遊牧民族をさす蔑称です。

一方、例えば、イザナギ、イザナミの命が生んだ最初の子は蛭子命(ひるこのみこと=漫画家でこの字でえびすと読ませる人がいますね)という名前が表すように歩けなかった子だったため、海に流したという記載が記紀にあります。流された蛭子命はどこかに漂着したという伝承が生まれ、海から流れ着くものを意味する「寄り神」として信仰されるようになったということです。

海から流れ着くものには、時には鯨など豊漁をもたらすものもあり、クジラやジンベエザメそのものを「えびす」という地域もあり、幸運をもたらす漁業神として信仰されるようになりました。その代表が西宮神社で、関西の方は「えべっさん」としてすぐに思い浮かぶでしょう。漁業神として祀っていた神を西宮に移し、その後は、市場町として栄えた西宮で、「商売繁盛の神」「福の神」としても祀られるようになりました。

17世紀になると、神社の周囲に住む人形操りの芸能集団「傀儡師」が全国を巡回してえびす信仰を全国に広めたということです。

本来の姿は、ときたま現れる外来からの幸運、だからこそありがたい「福の神」なのでしょう。新しい入居者の方には、恵比寿で幸運をつかんでいただきたいですね。あるいは幸運を運んでくださる方が入居してくださるかもしれません。

Weltmeister schaft (恵比寿西1丁目計画)

魅せる暮らしを楽しむマンション

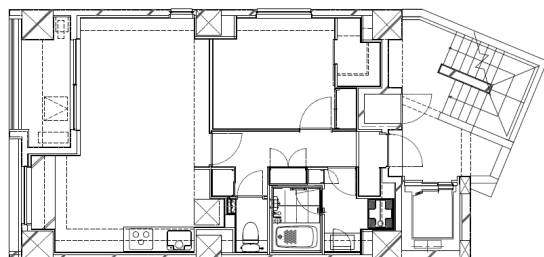
恵比寿西に新しく建替えられた賃貸併用の共同住宅である。1・2階は店舗、3-6階が共同住宅、7・8階がオーナーご一家の自宅となっている。オーナーの希望は、「恵比寿が好きで、おしゃれな感覚を持っている方に入ってほしい」というコンセプトである。センスのある暮らしを楽しんでもらえたら、と

均 27㎡のワンルームには、自分の部屋を自由にカスタマイズできる仕様が用意されている。例えば、壁にはフックを設け、家具のように使うこともできるし、可動性のある照明レールを用意している。小さなテラスに向けられた、窓の深めのニッチは、ギャラリーのように、あるいは家電製品などを置いてもいいだろう。天井高は普通のワンルームより高めで SOHO 使いも可能である。

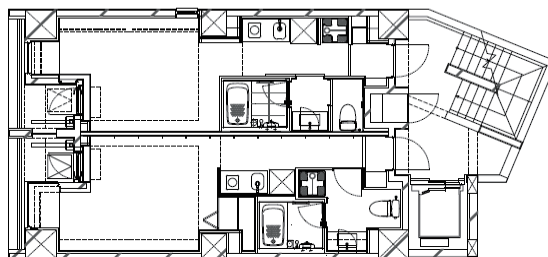
オーナー邸は、上層階 2 層分を 2 世帯で使われる。両方とも畳のスペースを設置し、親御様の世帯は、バリアフリーのトイレ・洗面・バスルームが一体となった使いやすい空間であり、息子様世帯は、リビングの上部にロフトを設け、また、中間層に天井高を押さえたゆったりとした収納空間を確保している。

マンション名は、オーナー様の趣味にちなんだ、サッカーの「ワールドカップ」を意味するドイツ語である。

(小田島 康朗氏 / A.I.design デザイナー談)



3階平面図



4-6階平面図

①全景②エントランスアプローチ。化粧打ち放しコンクリートと鉄扉で落ち着いた雰囲気を出し出す③賃貸部分テラス④賃貸部分。隣接ビルのタイル壁を開口部に取り込み、デザインと借景。窓側にシンプルな天板を設けて、デスクワークにもシェルフにも利用できるようにしている⑤壁に可動性のシェルフを設けている。フックやバーをしつらえた部屋もある⑥オーナー邸。LDK 上部にロフトを設けている。畳コーナーの下は収納のこちらは、下層に収納ルームを設けている⑦カラフルな色使いのオーナー邸洗面、バスルーム

所在地：渋谷区
構造：RC造
規模：地上8階
用途：店舗・共同住宅
設計：UDS株式会社 A.I.design
施工担当：村山
竣工：2015年3月
撮影：渡辺慎一

Takagi Planning Office

高木栄一氏



今月は、弊社が新事務所の改修工事を担当させていただいた、デザイナーズマンション企画の草分け的存在「タカギプランニングオフィス」(以下TPO)の高木栄一社長、市川夏子取締役建築企画部部長に、事務所移転にあたり、これまでの歩みについてお話を伺いました。(以下敬称略)

—このフロントラインのシリーズに最初に登場いただいたのが、高木社長なのですが、1997年に原宿に最初に事務所を置かれて、スタートされたのですよね。弊社も創立以来、これまで20棟以上の物件の施工をご用意いただいております、改めてお礼申し上げます。

市川：そうですね。3、4人でスタートし、2004年に移った赤坂では10人ほどでスタート。それから10年以上、スタッフの数も25人に増え、資料も多くなって手狭になったことから、今回の引っ越しとなりました。

—約20年前は、まだ建築家のデザインしたマンションは珍しく、高木社長の「カッコいい集合住宅は皆に住んでもらえるし、結局長寿命につながる」というコンセプトの下、次々と斬新な物件が建ちました。また、建築専門誌ではなく「Casa Brutus」など一般メディアにも取り上げられて、一般消費者にとって建築デザインは身近なものになりましたね。



市川夏子氏

市川：最近、デザイナーズマンションという言葉もすっかり定着し、「デザイナーズマンションでWEB検索しても、TPOが上位に出てこないよ」とお客さんに言われているくらいです。HPもいろいろと新しくしてはならないと言っているところです。

高木：他の集合住宅で同様な動きが出てきたことは歓迎ですが、「その土地にふさわしいデザイン、合理的な建物を建てる」という点では、やはりうちは全然違うと自負しています。

—この20年に建てられた建物は、何棟くらいになりますか。

市川：140~150棟くらいですね。

—かなりの数になりますね。思い出されるのは、TPOさんが企画された、建築家の公開プレゼンテーションによるコンペ、「TPOレコメンデーション」です。ある建築計画に対して、5人くらいの建築家の方々が設計提案を行うのですが、多くの建築関係者や事業主、地主の方々、学生さんが集まる中、プロの建築家が公開プレゼンテーションを行うというなかなかスリリングな企画でした。

高木：今思うと、後にプリツカー賞を取られる坂茂さんや西沢立衛さんも参加されていて、改めてありがたかったなあと思いますね。

—めったにない機会でしたし、TPOさんが6回も続けられたということが、事業主の方や建築家の方たちの信頼を得ている証でした。弊社も受賞作品の「Vague」「blocco」を施工させていただきました。

高木：当時は、建築家のプレゼンテーションを見ることは珍しかったですね。今はもう、あんなに大変なことはしませんが…(笑)

—最近はどういう動きがありますか？

市川：賃貸住宅では、デザイナーズマンションと言われるものが世に多く出てきましたが、たとえば、家具は作り付けではなく、カスタマイズできるもの、とか床暖房は必須、などありますが、むしろ、うちは「人の暮らし方」そのものを提案し、変えさせるような建物を生み出していると言えます。

市川：デザイナーズマンションという言葉が一般に認知されたせいか、部屋が空く前から事前申込をいただくようになりました。また、TPO物件のリピーターが増えてきたということが挙げられます。うちのお住まいになられながら、TPOのほかの物件に申込をされている方が結構いらっしゃるのです。そういう方には、仲介手数料をサービスしています。

—なるほど、TPOさんの提供するデザイン性の高い建物の根強いファンが増えているのですね。

市川：常に、空間として良質な建物をマーケットに提供していきたいと考えています。マーケットに出す条件は近隣相場の範囲内ということ意識して、その地域の中で選ばれる建物となって高い稼働率を維持できるよう、オーナーさんの力になればと考えております。

—賃貸集合住宅とは別に、戸建でも建築家が設計した良質な建物が、ほかの多くの一般物件と同じ条件、つまり駅から徒歩〇分など、建物の質とは無関係の基準で売買されるのは残念だという方もいますが、売買の取り扱いにはならないのですか。

市川：いえ、すでに手掛けています。せっかく思いを込めて作られた自分の家を手放したい方はそうはいません。高齢化で階段がきつくなったり、狭小住宅で家族構成が変わったので、住み替えが必要になったなど、それぞれ持ち主の方の理由がありますが、建築の良さに価値を置いた中古住宅の売買も積極的に行っています。

—創立から約20年経って、設備等の更新も増えてくることでしょうか。今後ともお手伝いをさせていただける部分がありましたら、どうぞよろしくお願ひします。本日はありがとうございました。



弊社施工のTPOレコメ受賞作品「Vague」(左)と「blocco」(右)

株式会社タカギプランニングオフィス
〒160-0003 東京都新宿区本塩町 8-1 パーシモンビル1F
TEL:03-5366-6551 FAX:03-5366-6552
URL:<http://www.t-p-o.com>

代表取締役：高木栄一
設立：1997年1月
業務内容：不動産の企画、仲介、売買、斡旋、賃貸管理
建築・インテリアに関する企画、設計、監理
および不動産コンサルティング

タカギプランニングオフィス 新事務所 改修工事 2015年5月初旬～末

デザイナーズマンションの企画の先駆けとして、様々なマンションを手掛けてきた「タカギプランニングオフィス」様が新たに事務所を移転されることとなり、弊社が改修工事のご依頼をいただきました。

赤坂事務所が手狭になったため、新天地として選ばれたのが四ツ谷の地。移ってみると、近隣には、建築家前川国男、インダストリアルデザイナー柳宗理、写真家渡辺義雄など、故人ではありますが、錚々たる方々の事務所があることで、落ち着いた佇まいの建物の街並に、

これまでの1.5倍のスペースを確保されました。

1階には、ショールームと打ち合わせスペースが大小4つ、倉庫が置かれました。ガラス張りのメインショールームは、物件の写真が並ぶギャラリーも兼ね、可動式の扉でオープンにもクローズにも仕切ることができます。白い大きな一枚扉(3000×2400)をプロジェクターのスクリーンとして利用することもできます。

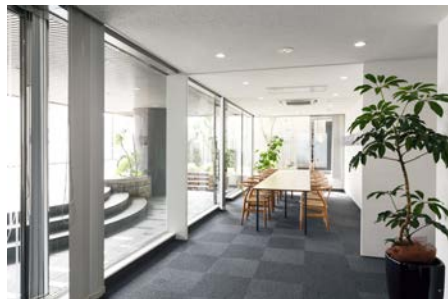
また既存の柱と中2つのスペースのガラス壁面を合わせ、柱の凹凸が目立たないようにして、可動式の扉と壁面の色も統一しました。遮音に

も配慮できたとのことでした。

2階にはスタッフがゆったりと机を並べられるオフィススペースのほか、ランチタイムをくつろげるフリースペースが用意されています。

家具は弊社の協力会社、美装開発が手掛けた大きな製作テーブルが入り、椅子は高木社長の知人のインダストリアルデザイナーで、ShinClubでもご紹介したことのある「ケーススタディショップ」の須田哲正様による特別仕様のイームズ。

広々としたスペースに移って、お仕事の効率もますますアップされることでしょう。

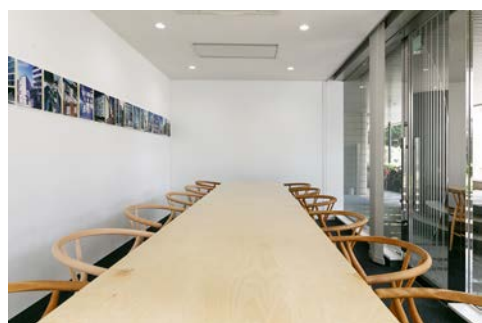


①1階メインスペース。左手前が入口



②壁面にはデザイン性豊かな物件の写真が並ぶ

内装設計：野口信彦／タカギプランニングオフィス
設計室
製作家具：美装開発
施工担当：宮島
所在地：新宿区本塩町8-1パーシモンビル1,2階
TEL:03-5366-6551(代表)
FAX:03-5366-6552
URL:http://www.t-p-o.com
E-mail:info2@t-p-o.com
撮影：アック東京



③扉はプロジェクターのスクリーンとしても利用できる



④2つのミーティングスペースは可動式扉とガラスで仕切られてオープンにもクローズにもできる



⑤一番奥に設けられた小スペース

「Omotensando Branches」(表参道ビル) が『新建築 7月号』、『GA JAPAN 135号』に掲載されました 7月1日

表参道と明治通りの交差点から渋谷寄りに少し入ったところに、コンクリート製の樹木フレームが前面にそびえるビルが現われます。どうぞご覧ください。

構造：RC造
規模：地上4階
用途：店舗・事務所・住宅
設計：藤本壮介建築設計事務所
竣工：2015年4月



「A-Flat 新築工事 上棟式」 6月4日



代々木公園駅前商店街のほぼ中央に位置する建物です。上層階より代々木公園の緑が望めます。

構造：RC造
規模：地上6階
用途：店舗・パレスタジオ・共同住宅
設計：リオタデザイン
完成予定：2015年8月

「米洲プロジェクト新築工事 地鎮祭」 6月15日



青木淳氏設計による斬新なデザインのビルが日本橋に建ち上がります。

構造：S造
規模：地上2階
用途：店舗
設計：青木淳
／青木淳建築計画事務所
完成予定：2015年12月

編集後記

・よいデザインの建物は地域の建物に確実に影響を与えます。街の雰囲気洗練されてくる、建築というものに対して地域の人々の考え方が変わってくる、そんな効果があるようです。そして、確かなデザインと機能には、根づよいファンがいるのですね。